

令和5年度 西砂学習館運営協議会（令和6年2月）会議録（案）

日 時：令和6年2月20日（火）午後6時00分～午後8時00分 （敬称略）

出 席：大橋 加藤 広瀬 内金崎 岩元 小林 能村 森 小笠原

欠 席：長谷川、杉之原、増田

傍 聴：無し

事務局：高野 田中 俣本

1 開会のあいさつ

大橋：今日は群馬で夏日を迎えたが明日から気温が下がる。体調管理には気を付けたい。地
運協の活動がまとめに入ってきている。一つ一つ丁寧に取り扱いたい。

2 中規模改修工事について

- ・工事の進捗 2/16（金）をもちまして工事終了。事故及びケガもなく、完了検査待ちと
なり、地域運営協議会ほか、ご協力大変感謝申し上げます。

高野：最終検査を経て、それに基づいた書類整理が多数あるが利用者には影響しない。

3 令和5年度地域活性化講座について

（1）「おやこ塾～パン作り」について

日時：令和6年2月25日（日）午後2時～3時30分

会場：西砂児童館

対象：小学生・中学生親子（講座内容は就学前の児童でも可）

○2月7日までに15組以上確保が講座の実施条件⇒20組に拡大

講師：日々のパン おうちパン教室 倅 松本久美子 氏

○キャンセル待ち含め、定員20組は、数日で定員に達し、キャンセル待ちとなる
小笠原：物品の用意や準備は講師と児童館で行う。当日は受付、席の案内等をお願いしたい。
作ったパンのお持ち帰りはしない。トースター3台で焼く。学童育成室を今回は会場
として使う。ロッカーに児童の荷物が置いてあるので参加者の方が触れないように
配慮して頂きたい。

参加/大橋 広瀬 小笠原 岩元 高野 俣本

集合/午後1時30分、エプロン、三角巾、マスク着用

（2）その他

- ・認知症予防講座について

内金崎：かみすな地域包括支援センターに依頼する。実施はゴールデンウィーク明けから5
月中旬かと思う。内容はある程度お任せで進めて良いか。

高野：5月18日土曜日は部屋が空いている。

内金崎：対象が高齢者なら平日の開催でも良い。土日参加が難しい生徒もいる。第一希望は
5月18日にして難しい場合は別の日にして学習館へ連絡する。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局まで。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について

- ・地域学校コーディネーターとの第3回情報交換会について
- ・日程予定 地域コーディネーターと調整。

令和6年：3/7（木）、3/14（木）、3/21（木） いずれも会議室 →3/14に決定

※時間については、30分程度遅れると報告あり、午後6時30分開始について調整したい。

(3) 「西砂学習館まつり」第1回実行委員会について

- ・第1回実行委員会 2月7日（水）午後1時30分 視聴覚室

*会則通りの実行委員長、副実行委員長選任

○会則の確認後、副実行委員長の立候補があり、実行委員長のみ前回準備会で意見の挙がったくじ引きで決定。

*展示、舞台発表会、催し物等について

今後の予定

- ・第2回実行委員会 4月10日（水）午後
- ・振り返り会 6月19日（水）午後

*アトラクションについて

- ・前回は、前週の期間外でプレまつりとして、国立音楽大学学生の演奏会を実施。

高野：実行委員長はくじ引きで南京玉すだれアーチストの会に決まった。副実行委員長は立候補で西砂書道愛好会に決まった。プレ祭りは祭り期間中に実施し「プレ」が無くなった。アトラクションは、国立音楽大学と連携をしている流れで国立音楽大学に依頼をする予定。前回はピアノと歌でお願いした。

広瀬：依頼時に演奏センターへしっかり内容を話すことが大事。音大も地域貢献ができて喜んでいる。市民、親子連れが楽しめる内容が良い。

岩元：市役所で行っている水曜コンサートのような組み合わせが良い。謝礼は。

高野：確定ではないが2万円から3万円の予定。

(4) 各委員から報告及び連絡事項（報告）

第7期地域運営協議会報告のまとめについて

加藤：来年度の計画が始まっている。西砂学習館ではパソコン講座、クラシック入門、交流クッキングは今までと同じように開催。講演会は認知症関係、銅板作家の赤川さん、ドバーバばあいの3つを予定。財政を考える会では毎月勉強会を行っている。先日は市議4名が参加し、ざっくばらんに困っていることなどお話した。

広瀬：たましんR I S U R Uホールで平均年齢80才の合唱団の演奏会を行った。先日は国技館5,000人の第九コンサートに参加。高齢者の参加が多い。観客から技術を越えた魂の歌声と感想を頂き、高齢者も同じ高齢者に影響を与えられると感じた。

内金崎：今年に入り地域の中で動きがあり、子ども食堂や不登校の子どもの居場所作りに

ついて相談を受けることが多くなった。地域活動が増えているのを感じた。

小笠原：3月は行事が重なっている。3月5日地域交流会を予定。昨年子どもの居場所の提案をした。色々な情報を共有できたらと思う。学童遠足を予定。場所は野山北公園。21組の親子が参加予定。3月17日は児童館最大の行事「にしすなこどもまつり」を予定。中里神明囃子連、都立武蔵村山高等学校書道部、少年野球ベアーズ、こいけけいこ先生等地域の方に協力を頂き実施する。参加費100円は被災地へ全額寄付する。

岩元：社会を明るくする運動では3月24日にアイムで映画会を行う。コーラス槐は学習館祭りに向けて特訓を行っている。地域学校コーディネーターとしては地域力を活用できるようになりたいと考えている。

小林：学習館祭りに西砂書道愛好会で出展する。できる限り頑張りたい。

能村：「きらり・たちかわ」春号が3月25日に発行。特集は立川市民歌。昭和32年に当時の文化連盟が制定した。歌う機会が減り、だんだん歌わなくなってきたが、市民歌選定50周年にあたり、平成22年に市と文化協会でもCD化された。

森：今月の活動は雪の為に次週に延期。連絡はLINEで行いすぐに情報が伝わった。2月27日から29日はエクセル講座、3月5日から6日は団体企画型講座。昨夜パソコンサークルの受講者から電話があった。パソコンからピーピー警告音がし、画面に出ている電話番号に電話をしたところお金を振り込むように言われたとのことだった。お金は絶対に振り込まないようにと伝えた。

俣本：今月は2月13日に「懐かしい歌をご一緒に」があった。たくさんの方に参加して頂いた。3月はオカリナコンサート、子ども観劇会を予定。

田中：改修工事の為に外していた看板を検査終了後に戻す準備をしている。2月10日砂川学習館企画、音大の先生と生徒によるリトミック講座を視聴覚室で行った。

高野：陶芸窯が電気式になった。説明会をサークル限定で行う。7期の感想をお願いしたい。締め切りは3月22日。

(5) 地域学習館生涯学習関係者等研修会（1/23から日程変更）報告について

令和6年2月2日（金）午後2時 柴崎学習館 ホール

加藤：ざっくりばらんな話をして頂き非常に良かった。地運協委員、行政職員、生涯審、市民推進委員、市民リーダーが来ていた。

広瀬：テーマが「市民の楽しい学習のきっかけ作りとは」で良かった。先生の生い立ち、教育について、好奇心を持って大人が参加するとはという話をしてくれた。

岩元：教育は共にわくわくするのが大事とおっしゃっていた。不登校の子の接し方について聞いた。とにかくその子の良さを認めて、頑張っているねと励ましが大事とアドバイスを頂いた。参加して良かった。

加藤：講師は東京学芸大学准教授の末松先生。柴崎学習館地運協の委員。市民推進委員会の研修もしてくれた。

(6) 地域学習館運営協議会交流会報告について

令和6年2月17日（土）午後2時 立川市役所3階302会議室

大橋：テーマは「学習館事業における地域人材活用について」。神山先生は高松学習館地運協委員。明星大学名誉教授で定年を迎えた。地域のニーズをつなげて形にする。地域

が一丸となり学校を支援するお話をしてくれた。地域と学校が上手くいっているところもある。学校の要請に対して地域が支援する関係ができている話をされた。

加藤：神山さんは地域の教育をよく分かっている方。PTA がなくなっていると話があった。

大槁：点と点が繋がり線になり、線と線が繋がり面になる。ウインターイベントでも草花書道会と繋がり、活動の拠点 2 つが繋がり広がっている。サマーイベントも講師で来たお手玉の会、皿回しの方、モルックも新しい人材。学習館の持つネットワークが繋がり活動の広がりを感じた。当日は元気通信を配布し、地域学校コーディネーターとの交流会、学校から何かあったらすぐ動ける地域にしたいとお話をした。

俣本：同じグループの方から西砂は人材活用がとてもよくできていると言われた。

大槁：大学との連携は全館に対して努力が足りないと思う。学生は若いから発想が柔軟で色々な取り組みができる。

広瀬：子育て中の方からこの地域にずっといる気は無いと聞きショックを受けた。子育てはこの地域で、子どもが大きくなったら都心の便利な地域に引っ越すとのことだった。

大槁：子育てに対して関心が高い。その部分に視点を置いた講座企画は有効。

岩元：七中では都立高校の推薦入試は 60 人受けて 38 人が合格だった。教育に熱心な世代が来ている。

高野：30 代の世代が増えている地域。

大槁：子どもが増えて教室が足りない状況。

岩元：学区を変えたら解決する。

加藤：高松学習館と砂川学習館の委員が西砂の地運協に傍聴に来たことがある。各地域によって地運協も違う。各地運協の委員が各地運協に行っても良いのではと提案された。

(7) その他

高野：3月14日の立川第七中学地区地域学校コーディネーターの交流会では地域課題が色々でている。GLP 昭島プロジェクトは地域課題と思う。西砂小エリアだけでなく、松中小地域も今後大きな影響がでる。

加藤：説明会に出席。環境の質問が多かった。離れている地域の方の参加もあった。

森：踏切の細い道を子ども達が歩くので心配。

大槁：子ども達の安全な登下校については課題になっている。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、令和 6 年 3 月 22 日（金曜日）

<配布資料>

- ・〈資料 1〉おやこ塾チラシ
- ・〈資料 2〉1 月地域運営協議会会議録
- ・〈資料 3〉第 44 回学習館まつり日程案
- ・〈資料 4〉「第 7 期 2 年間の活動に対する感想と意見」原稿用紙